

# ちば水土里支援会報

NO. 30

令和5年1月17日発行

特定非営利活動法人

ちば水土里支援パートナー



匝瑳市堀川浜の初日の出

## —目次—

令和4年度第1回臨時総会開催される----- 1

杉野理事長挨拶----- 1

NPO法人活動実績 -----2

### 寄稿

令和4年度農業農村事業について-----3

農業水利施設に係る電気料金の高騰に対する支援-----5

## 令和4年度第1回臨時総会開催される

令和4年度第1回臨時総会が、令和4年11月15日午後2時から千葉市美浜区新港の土地改良会館で、会員総数143会員のところ、出席118会員（本人出席15会員、書面議決出席100会員、委任状提出者3会員）で開催されました。

まず、兼坂事務局長の司会で開会し、会員の出席状況の報告があったのち松田副理事長の開会宣言、杉野理事長の挨拶がありました。また、議長には司会者が出席者に諮り、池尻勉会員が満場一致で選任されました。議事に先立ち議長より議事録署名人2名を選任したい旨の発言があり、宇井哲也及び河野貞雄の両会員を指名しました。

続いて議事に入り

議案第1号 令和3年度事業報告並びに決算について

の1議案が上程されました。事務局からの議案説明の後、質疑応答があり賛成多数で可決されました。

本会議に付議された議案は全て終了した旨の議長発言があった後、議事を終了しました。最後に松田副会長が閉会を宣言し午後3時に総会を終了しました。



臨時総会の様子

## 杉野理事長挨拶

雨も降り寒い中、令和4年度第1回臨時総会にご出席をいただき、感謝申し上げます。

本日の臨時総会は、電気料金の高騰を受け、運営が厳しくなった土地改良区を支援するため、千葉県土地改良事業団体連合会が事業主体となり、県から補助金をいただき「農業水利施設物価高騰対策支援事業」を急遽実施することになり、その補助金交付事務の一部を「ちば水土里支援パートナー」が県土連から委託を受けて行うことするためには、臨時総会を開催して「令和4年度の事業計画及び予算」の変更を行う必要がありますので、急な開催となりましたことをお許しく下さい。

業務の内容については、当NPOの設立趣旨にマッチしており土地改良区支援にもつながると思いますので、詳細は後程事務局から説明しますので、慎重審議をよろしく願います。

NPO法人活動実績（令和4年年4月1日～令和5年3月31日）

月 日	活 動 内 容
4月 1日(木)	耕友会事務処理支援業務受託契約
"	安房中央ダム定期点検業務受託契約
"	千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務受託契約
"	君津地域土地改良協会事務支援業務受託契約
4月18日(月)	君津地域土地改良協会監査(袖ヶ浦市)
4月19日(火)	千葉土地改良協会千葉支部監査・役員会(千葉市)
4月21日(木)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
4月28日(木)	君津地域土地改良協会第1回幹事会(木更津市)
5月12日(木)	千葉土地改良協会会議(千葉・市原両支部)(市原市)
5月17日(火)	君津地域土地改良協会第1回理事会(木更津市)
5月19日(木)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
5月26日(木)	令和3年度水土里支援パートナー事業監査(土地改良会館)
"	令和4年度水土里支援パートナー第1回理事会(土地改良会館)
5月27日(金)	千葉土地改良協会千葉支部通常総会(千葉市)
6月 7日(火)	君津地域土地改良協会通常総会(木更津市)
6月21日(火)	令和4年度水土里支援パートナー第13回通常総会(土地改良会館)
"	令和4年度水土里支援パートナー第2回理事会(土地改良会館)
7月 7日(木)	第28回「美しい農村環境写真コンテスト」審査会(土地改良会館)
7月12日(火)	新理事長登記変更申請(相川文明⇒杉野宏)
"	同上登記完了
7月12日(火)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
8月16日(火)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
9月16日(金)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)
9月21日(水)	君津地域土地改良協会第1回幹事会(木更津市)
10月 6日(木)	農業水利施設の電気料金高騰対策支援事業説明会参加
10月25日(火)	令和4年度水土里支援パートナー第3回理事会(土地改良会館)
10月27日(木)	千葉土地改良協会千葉支部三役員会(千葉市)
10月31日(月)	君津地域土地改良協会研修会(木更津市)
11月15日(火)	令和4年度ちば水土里支援パートナー第1回臨時総会(土地改良会館)
11月18日(金)	農業水利施設電気料金高騰対策支援事業にかかる支援業務開始
11月29日(火)	千葉土地改良協会千葉支部第1回理事会(千葉市)
12月14日(水)	安房中央ダム堤体観測(南房総市)

[寄稿]

## 令和4年度農業農村整備事業について

千葉県農林水産部耕地課 課長 鈴木清次

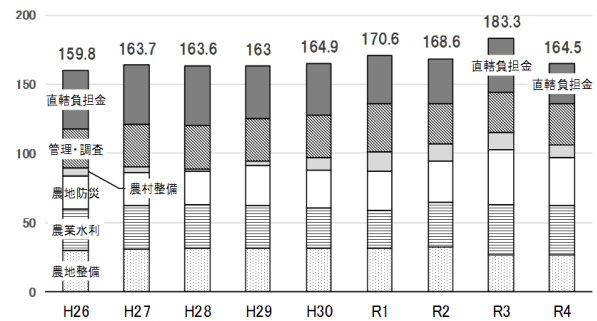
NPO法人ちば水土里支援パートナーの会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症や自然災害、長期に渡る原油価格・物価高騰など厳しい社会情勢ではありますが、本県の農業農村整備事業に対しまして変わらぬ御支援・御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

### 1 令和4年度予算について

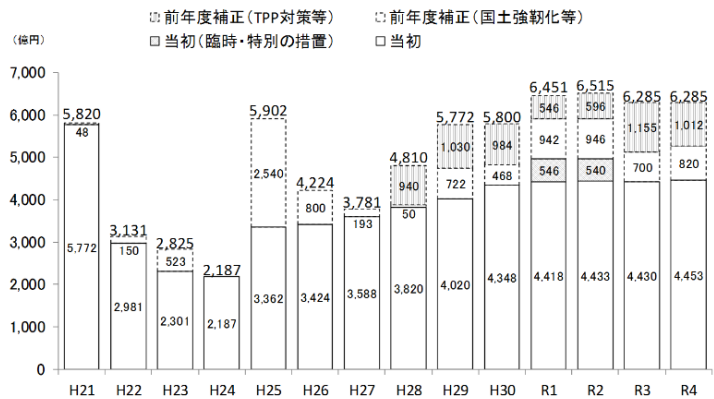
さて、県の令和4年度 農業農村整備予算につきましては、164.5億円を計上しています。前年度比90%であり、防災重点農業用ため池緊急整備事業に係る予算が新規(拡充)となる一方で、令和元年災が一段落ついたことや国営事業の完了などにより、災害復旧事業や直轄事業負担金に係る予算が減額となっています。

また、国の予算については、前年度補正予算と当初予算の合計で6,285億円となっています。政権交代前の平成21年度時点に回復していますが、内容は当時と異なり、補正予算は国土強靱化などの目的予算であったり、当初予算では、公共事業の制度組替えや農地耕作条件改善事業や農業水路等長寿命化・防災減災事業などの非公共事業を含めた予算となっており、時代の変化に応じた制度に見直しながら予算が確保されている状況です。

県としても、国の割当額確保のため、国事業制度に柔軟に対応し、令和4年度の実質の割当額は、令和3年度補正予算と当初予算を合わせて、県要望額に対して、96%の充当率となっています。今後も、事業効果が速やかに発現できるよう国の動向を注視しながら予算の確保に努めてまいります。



(図1) 県予算の推移



(図2) 国予算の推移

### 2 千葉県農林水産業振興計画(令和4年度~7年度)

農林水産業の更なる発展を目指すため、令和4年3月に「千葉県農林水産業振興計画」を策定しました。「力強く、未来につなぐ千葉の農林水産業」を目標に掲げ、本県農林水産業における10年後の目指す姿を示すとともに、その実現に向けた具体的な取組を定めて

います。

10年後の目指す姿及び基本目標を実現するため、令和4年度から7年度までの4年間で取り組む具体的な施策を体系的に整理しました。「Ⅰ 次世代を担う人材の育成・確保」として、担い手の農業経営力の強化や農業を支える新たな人材の確保や企業の促進などに取り組みます。「Ⅱ 農林水産業の成長力の強化」として、スマート農林水産業の加速化や生産基盤の強化・充実などに取り組みます。「Ⅲ 市場動向を捉えた販売力の強化」として、需要を捉えた販売の促進や販路開拓に向けた輸出促進などに取り組みます。「Ⅳ 地域の特色を生かした農山漁村の活性化」として、農山漁村における交流人口の拡大や多面的機能の維持などに取り組みます。「Ⅴ 災害等への危機管理の強化」として、災害等への備えと復旧への支援や危機管理体制の強化などに取り組みます。

### 3 農業農村整備事業の推進

県では、「ちばの食と農を支える土地改良」として、3つの柱により農業農村整備事業を推進しております。

#### 1) 構造改革の加速化：競争力を高める基盤整備の推進

担い手への農地の集積・集約化を行い、生産コストの削減や高収益作物への転換など、多様な農業経営のため、農地の大区画化・汎用化や道路や用排水路の一体的な整備にするほ場整備事業等を計画的に推進し、地域農業の持続的な発展に貢献してまいります。

香取市において新たに採択された1地区も含め、県内各地で実施されている基盤整備事業について着実に実施してまいります。

#### 2) インフラ長寿命化：生産基盤の長寿命化対策の推進

地域の農業生産を支える農業水利施設等については、耐用年数を経過した施設が増加しております。既存施設を有効に活用するため、施設の機能診断や機能保全計画の策定、老朽化対策工事等を実施していきます。今年度は富津市と成田市の2地区において事業採択となっており、引き続き、計画的な施設の長寿命化対策を進めてまいります。

#### 3) 国土強靱化：農村の防災・減災対策

農地・農業用施設に対する自然災害による被害を未然に防止し、県民の生命及び財産を守るため、排水施設等の計画的な整備やため池等における人的被害の発生防止に向けたソフト・ハード対策を着実に実施してまいります。

ため池対策については、令和3年3月に策定した「千葉県防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づき、劣化状況評価等により防災工事が必要とされた農業用ため池のうち、決壊した場合の影響度の高いものから順に、緊急度や地元の合意形成状況を勘案し、計画的に整備を進めていきます。今年度はいすみ市において、県内で初めてとなる防災重点農業用ため池緊急整備事業が採択となりました。安全性の回復強化と安定した管理のできるため池として改修を行ってまいります。

### 4 おわりに

農業の生産基盤を下支えする農業農村整備事業の役割は、より一層大きくなるものと思います。皆様方には、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

# 農業水利施設に係る電力料金の高騰に対する支援

千葉県農林水産部耕地課 管理指導班

## ○農業水利施設物価高騰対策支援事業の創設

令和4年9月9日に開催された国の第4回物価・賃金・生活総合対策本部において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設することが示されました。

これを受けて、県では、依然として続くエネルギーや食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対し、速やかに更なる支援を行うため、**農業水利施設物価高騰対策支援事業**を創設しました。

間接補助事業者である千葉県土地改良事業団体連合会を通して、電力料金に対する補助金を交付するため、現在手続きを進めています。

## ○事業の内容

電力料金のうち、燃料費調整単価の高騰による増高分について、2分の1以内で以下のとおり補助します。

### 補助対象者

農業水利施設を管理している土地改良区等

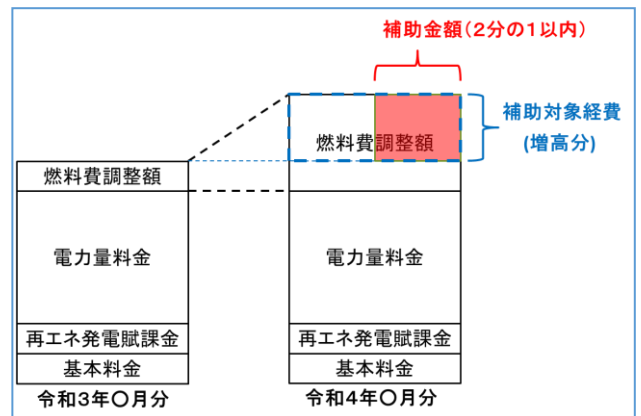
### 補助対象施設

県営土地改良事業及び県の補助を受けて造成した揚水機場、排水機場、用排水兼用機場

### 補助対象期間

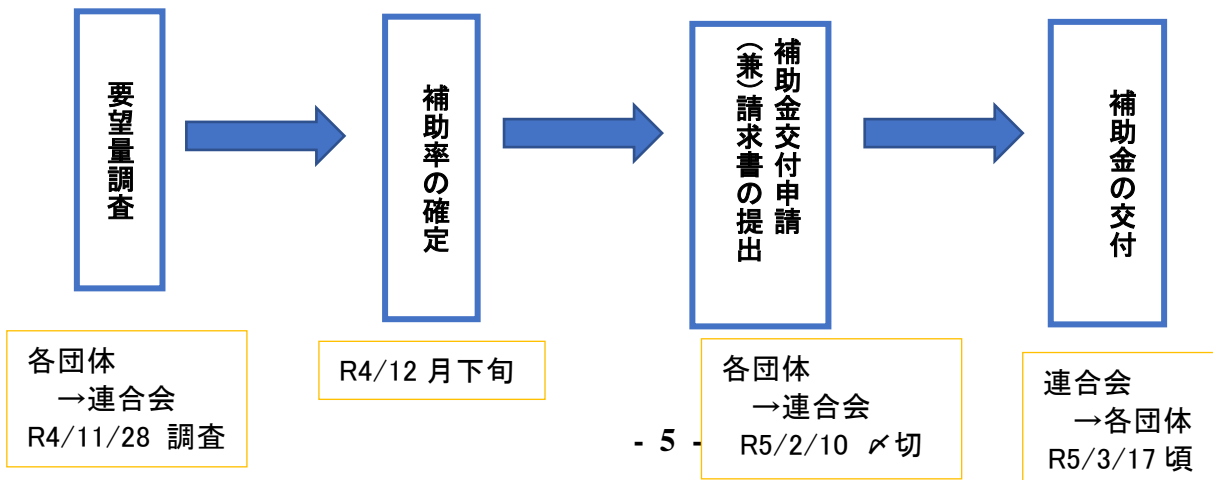
令和4年3月分から令和4年12月分

※詳細は、補助金交付要綱等をご確認ください。



支援対象のイメージ図

## ○手続きの流れ



## <編集後記>

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には穏やかで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、11月の臨時総会で承認されました農業水利施設物価高騰対策支援事業の当NPO法人の支援業務につきましては、11月から年始にかけて事務局員が中心となって実施しております。

事業の概要は本号の理事長挨拶、耕地課の寄稿文のとおりですが、具体的には各土地改良区、水利組合等から申請された書類の内容確認で、約150団体、1000カ所以上の施設について申請内容を一件毎チェックしました。

事務員を置いていない小さな土地改良区が多く、書類作成に慣れていないこともあり、過去の造成事業名が分からず空欄のまま提出されているものや、必要な書類が添付されていない地区が多くありました。

電気料金高騰の影響を受けて土地改良区等から申請されたものであり、東京電力とは農事用電力で契約してかんがい用水として使用しているの、補助対象となるよう地元に取り組みを行い、電気使用量や施設の造成事業名などを確認していきました。

当NPO法人は千葉県の各地で土地改良事業を担当したOBで構成されており、今回の業務はこれまでの経験や知識を生かすことができ、間接的ではありますが少しは土地改良区等の支援に貢献できたものと思っています。

コロナウィルスの収束が見えない中、ロシアがウクライナに侵攻し、エネルギー、食糧などが武器として影響力を行使するような時代になってきています。これからの安全保障の面からも農地、農業用施設などの農業基盤を維持していくことは今まで以上に重要になってきており、当NPO法人も何らかの貢献ができるものと思っています。

会員の皆様には日頃から当NPO法人に対してご支援ご協力を頂いていることを感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

### ちば水土里支援会報 第30号 (発行日 令和5年1月17日)

発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者：杉野宏)

会員：正会員 122名・21団体 賛助会員 16団体

事務局：〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-241-1755 <http://npochiba.boy.jp/npo/>

銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー

理事長 杉野 宏